

『看護研究 第2回目』 研修会実施報告

日時 : 令和2年7月4日(土) 8:30~17:15

対象者 : 卒後4年スタッフ13名 アドバイザー3名

参加者数 : 16名

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

<講師の紹介>

山陽学園大学 中木里実先生

順天堂大学 平岡玲子先生

1回目の研修は非常事態宣言発令中のためお招きできませんでしたが、これまでメールでアドバイスをいただいていた。今回、初めて直接ご指導いただきました。



<内容>



今回は、事前課題である研究計画書について各グループで発表を行い、先生方からアドバイスを頂きました。その後、グループワークでさらに内容を深め先生やアドバイザーからの助言を元に研究作業を進めていきました。

現在、倫理審査申請中のため最終確定ではありませんが、各グループのテーマをお知らせいたします。

- 1 グループ「アルコール飲料による手指消毒の有効性について」
 - 2 グループ「離床センサーに対する看護師の意識変化
～離床センサーを使用せずに看護ケア援助を行うには～」
 - 3 グループ「意思決定支援の向上に向けた取り組み
～アドバンス・ケア・プランニングに関する認知調査～」
 - 4 グループ「慢性心不全患者への身体機能に着目した看護援助への認識と取り組みの状況」
- 今後、関係部署の皆さんにはご協力をお願いすることと思いますが、宜しくお願いします。